

会 議 要 旨

会議名	平成29年度 第2回館山市文化財審議会
開催日	平成30年 2月19日(月) 午後1時30分から3時30分
開催場所	館山市コミュニティセンター第1学習室
出席者	文化財審議会委員 7名 教育委員会教育長、事務局 4名
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<p>1. 開 会</p> <p>2. 館山市教育委員会 教育長あいさつ</p> <p>3. 会長あいさつ</p> <p>4. 館山市文化財の指定に関する諮問について (1)「妙音院のオハツキラッパイチョウ」 (2)「慈恩院のオハツキラッパイチョウ」</p> <p>5. 審議事項 館山市文化財の指定に係る審議について (1)「布良崎神社の石棒」(継続審議) (2)「妙音院のオハツキラッパイチョウ」 (3)「慈恩院のオハツキラッパイチョウ」</p> <p>6. 報告事項 (1)木造地藏菩薩立像の修復調査について (2)映像記録の作成予定について (3)稲村城跡の整備について (4)赤山地下壕跡の整備について (5)森田家住宅の登録申請について</p> <p>7. その他</p> <p>質疑応答・意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布良崎神社の石棒は、写真と詳細な図面をとる。市内だけでなく近隣の他の石棒についてもさらに調査を進める。 <p>→継続審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オハツキラッパイチョウについては、数年間調査を行い実際にどちらの木からもオハツキ・ラッパの確認がされている。 ・ただしイチョウによって、オハツキが多くラッパが少ない、ラッパが多くオハツキが少ないといった違いがある。指定名称をイチョウとしてはどうか。 ・イチョウだけでは特徴がわからない。()の中にオハツキラッパイチョウといれてはどうか。地名で付ける方法もある。 <p>→継続審議</p>

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・木造地蔵菩薩立像の修復について、審議会としては市から資金を出すように勧めたい。ただ、館山市は修復予算が毎年計上されているわけではないので、難しいと思うが補助金、助成金を活用してできるだけ出すようにしてほしい。修復の際には審議会で審議を行う。・映像記録の作成はぜひ進めてほしい。御船歌だけでなく、祭りの映像も保存する。御船の組立の際も記録に残す。現在行っていないものも歌い手に協力を依頼する。また以前に撮影したテープを活用する。・稲村城跡については整備の際に整備委員会をつくる。計画書の策定までに非常に時間がかかる。同時に指定されている南房総市と合わせて整備を行っていく。・戦争遺跡など近代遺跡を幅広く紹介する方法を考えていくとよい。・登録については委員による所見の修正を行う。・小原家住宅はすでに登録されているが、建築的な部分など調査が不十分な面が残されている。住宅として歴史的価値が明らかになれば指定になってもおかしくない。再調査を行うとよい。・博物館分館（旧安房博物館）1階の展示について、計画的な管理をしてほしい。期間限定の展示といった手法も検討してほしい。 |
|--|---|